



7



6

- 6 | ご家族の時間ももちろん、ビジネスの打ち合せなどもこのリビングで。生活感を感じさせないオシャレな空間。
- 7 | バスルームは新緑のグリーン。市松模様配置したモザイクタイルがアクセントに。

無節の国産材を使い  
利便性にもとことん配慮

構造材も化粧材も、国産の無節材を選んだ丁邸。梁は地松、天井は杉、床は桜材を使用。建具もすべてオリジナルで造作し、埋め込みにする事で空間を広く使えるように配慮しています。公私のゲストを迎える機会が多い丁夫妻は、リビングやゲストルームには玄関から直接入れるように、プライベートとパブリックの分離にも配慮しました。この家は風もよく通るように計算されています。寝室の窓から見える山並みや室内を吹き抜ける風が本当に気持ちいいですね」と丁夫妻。素材と色へのこだわりが快適を生み出しました。

「大工の口伝」  
法隆寺宮大工 西岡恒一  
塔組み 木組み  
水組み 木のくせ組み  
人の心組み

施主様から頂いた、法隆寺宮大工 西岡恒一氏のお言葉です。この書は、昨年、惜しくも完成を見る事無く他界された、施主様のお父様である神野申示様より頂戴致しました。西岡氏の言葉を深く心に刻み込み、巨匠には遠く及びませんが、プレカットに頼らず、自らの手で木を刻む日本の伝統的な「ものづくり」をこれからも実践、継承してまいります。



設計管理：白川建設 白川恒文

西岡恒一 1908年～1995年 法隆寺文化財保存事務所技師代理  
法隆寺修理工事にあたり、学者との間に激しい論争に西岡は一步も引かず自論を通し、「法隆寺の鬼」と呼ばれていた。



本チラシ「Reve」に掲載しております  
「自然素材でつくりあげた麗しの邸 [紙上見学会 新居浜市・J様邸]」は、エス・ピー・シー出版の「住まいと暮らしの年鑑2014」に掲載（254～259ページ）された記事を編集、使用させていただいております。



キッチンには柑橘のイエローがテーマカラー。自然な曲線を描く梁とともに生命力を感じさせます。キッチンカウンターはオリジナルで造作。